

進化したラクスエーター・プラス Pシリーズ

この度、クロスフィールド株式会社よりダイレクタ社
ラクスエーター・プラスの新しいラインナップ、Pシリーズをご紹介
いただきました。従来型のラクスエーター・プラスも使用していますが、
両者を比較すると個人的には非常に使いやすくなったと感じます。

高梨歯科
(東京都中央区)
院長 高梨 芳彰



ラクスエーター・プラス Pシリーズ P3 コントラアングル

第一に洗浄、滅菌そして保管がしやすくなりました。Pシリーズは4本セットで
ケースに入れての管理がお薦めです(写真1)。スタッフの仕事が効率的になり、
ドクターがどの種類を使うのか考える手間も必要ありません。次に、軽量のペン
型になったことで施術時の動作と力のコントロールが容易になり、歯肉縁下の見
えない刃先の小さな動きを指先で感じやすくなりました。また、従来型よりも刃
が薄く鋭利になったとのことで、これまでよりも弱い力で操作が可能になりま
した。操作性の向上だけでなく安全性の面で、Pシリーズは抜歯挺子と形態が類
似していないので、術中にうっかり輪軸作用運動をさせてしまうことによる損傷
は回避できると思います。

今回提示した症例は、矯正専門医からの上顎右側第一小臼歯抜歯症例です(写真2)。
余談ですが、こちらの先生はいつも抜歯すべき歯を明確にして、誤抜歯を防ぐ一
工夫をして下さるので非常に助かります。比較的骨植の良い抜歯しづらい症例で
したが、ストレスなく短時間で処置を終えることができ(写真3)、1週間後の
抜糸処置まで患者さんが痛みや腫れを訴えることはありませんでした(写真4)。

特にラクスエーター・プラス Pシリーズ4種類中、P3 コントラアングルは、
口蓋あるいは舌側から挿入しますが、特徴的な形態で非常に使い易いと思います
(写真5)。

まだ使用回数が少なく、多くのことはお伝えできませんが、ラクスエーター・プ
ラス Pシリーズを使用することにより、これまでよりもさらに低侵襲な抜歯手術
が可能になると思います。



写真1. 4本セットでケースに入れて保管



写真2. 上顎右側第一小臼歯抜歯症例



写真3. ストレスなく短時間で処置



写真4. 一週間後の抜糸処置



写真5. P3は口蓋あるいは舌側から挿入